

2015 年度 第 3 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 9 月 3 日(金) 15 時 15 分～16 時 30 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 多田元英, 五十嵐規矩夫, 一戸康生, 井戸田秀樹, 岡崎太一郎,
(敬称略) 岡本哲美, 兼光知己, 澤本佳和, 田川泰久, 田中 剛, 寺田岳彦,
成原弘之, 西山 功, 平島岳夫, 増田浩志, 緑川光正, 見波 進,
宇佐美徹(記録)
欠席:稲岡真也, 越智健之, 河野昭彦, 向野聡彦, 笠井和彦, 木村祥裕,
吹田啓一郎, 竹内 徹, 中込忠男, 原田幸博

4. 配付資料

- 03-01 2015 年度第 3 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
03-02 2015 年度第 2 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
03-03 構造本委員会議案(多田主査)
03-04 鋼構造座屈小委員会(井戸田幹事)
03-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
03-06 鋼構造制振小委員会(緑川委員)
03-07 鋼構造耐火設計小委員会(平島委員)
03-08 鋼構造環境小委員会(兼光委員)
03-09 鋼構造素材小委員会(見波委員)
03-10 鋼構造塑性設計小委員会(五十嵐委員)
03-11-A1~A2 鋼構造設計規準英文版査読対応資料(岡崎委員)
03-12 質疑回答の一覧(井戸田幹事)
03-13 東日本大震災合同調査報告(総集編)目次案(緑川委員)

5. 議事内容

- (1) 資料 03-02 に基づき井戸田幹事より前回議事録の報告がなされ承認された。
- (2) 資料 03-03 に基づき多田主査より構造本委員会の報告がなされた。
- ・ 来年度大会の PD 企画案提出は 10 月 31 日が締め切り。鋼構造運営委員会からは耐火のテーマで企画書を提出する予定。担当は平島委員。
 - ・ 「鋼構造環境配慮設計指針」について刊行物の書名変更申請がなされ、(案)(Draft)をつけることで承認された。
 - ・ 座屈小委員会、鋼構造設計規準英文化小委員会から出されていた WG 設置申請が承認された。
- (3) 資料 03-04~03-11 に基づき各担当委員より小委員会の報告がなされた。
- 座屈小委員会(資料 03-04, 井戸田幹事)
- ・ 改定の方針は概ね固まり、その方針に沿って執筆を進めている。脱稿は今年 11 月末の予定。

接合小委員会(資料 03-05, 増田委員)

- ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブック 今年度内に予定していた講習会を来年度に回して欲しい旨の依頼があった。来年度発刊に変更する。
- ・ 運営委員会査読に向けて最終原稿を整理中 今月25日に WG 開催予定→運営委員会査読
- ・ 梁端 WG はシンポジウムに向けて内容を詰めている 従来型と改良型に分けて指針反映の前段階の資料収集に努めている。

制振小委員会(資料 03-06, 緑川委員)

- ・ 前回の運営委員会から開催されていない。
- ・ 正誤表は今月中にはまとめ、事務局へ提出する予定である。

耐火設計小委員会(資料 03-07, 平島委員)

- ・ 前回の運営委員会から開催されていない。
- ・ 耐火設計指針の刊行企画書(案)の提出を考えている。再来年度刊行予定。企画書提出について承認。
- ・ 鋼構造運営委員会での査読委員を12月の運営委員会で決定する。
- ・ 委員の追加として、建築研究所の西野氏の推薦があった。承認。

環境小委員会(資料 03-08, 兼光委員)

- ・ 現在は刊行物の出版に向けて活動中
- ・ 12/7 開催の講習会の案について検討を進めている。

素材小委員会(資料 03-09, 見波委員)

- ・ SN490B 以外のデータベースは公開を開始している

塑性設計小委員会(資料 03-10, 五十嵐委員)

- ・ 前回の運営委員会以降開催はなし。次回は9月7日(月)に開催予定。
- ・ 12月に改定版塑性設計指針の脱稿予定。鋼構造運営委員会での査読委員を12月の運営委員会で決定する。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(資料 03-11-A1~A2, 岡崎委員)

- ・ 木村委員からの査読結果の対応は完了した。現在は構造本委員会への査読に向けて準備中である。
 - ・ Web出版を有償とするか無償とするかについては、引き続き小委員会で議論する。
 - ・ 構造本委員会の査読を11月初旬までに終えて、12月に対応する。少しスケジュールが遅れているが本年度中の発刊を目指す。
- (4) 資料 03-12 に基づき井戸田幹事より学会図書 of 質疑回答状況について確認がなされた。
- (5) 資料 03-13 に基づき緑川委員より東日本大震災合同調査報告(総集編)目次案について説明がなされた。
- ・ 総集編は一般の人にも向いた内容にし、6.6 節を 1/20 に圧縮して 10 ページ程度になる。
 - ・ 緑川委員から各章の担当者に執筆を依頼する。
- (6) 座屈小委員会への鉄塔構造計算規準に対する質問に関し、その対応について議論がなされた。
- ・ 現在、鉄塔構造計算規準は使用されておらず、建築物としての鉄塔は建築基準法の計算方法を適用しているのをごちからを使用してほしい旨を回答書として多田主

査が作成し、事務局へ提出することとした。

(7) S 規準を改定する小委員会設置に関し、田川委員より報告がなされた。

- ・ 10月頃に小委員会の設置申請書を提出する予定である。
- ・ メンバーは前回の委員(多田主査, 五十嵐委員, 井戸田幹事, 田川委員, 中込委員, 増田委員)に加え, 岡崎委員, 竹内委員を考えている。
→小委員会への参加は最大3件までなので, 検討のこと。
- ・ 英文化小委員会から出されている更新内容を, 正誤表で対応する内容と小委員会で検討する内容に整理すること。

6. その他

- ・ 今後の重点審議は次の通り。
 - ◇ 2015年度第4回(12/14)運営委員会:なし
 - ◇ 2015年度第5回(3月)運営委員会:耐火設計小委員会
 - ◇ 2016年度第1回(5月)運営委員会:素材小委員会
 - ◇ 2016年度第2回(7月)運営委員会:環境小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時, 場所は以下の通り。
 - 第4回 2015年12月14日(月), 13:00-17:00, 於:建築会館
 - 第5回 2016年3月頃